

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和5年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	69-2111	代表者	代表取締役社長 黒木 秀樹
名称等	名称	株式会社 東郷町ふるさと公社		所在地	〒883-0211 日向市東郷町坪谷1267番地		
	設立年月日	平成9年10月16日		電話番号	TEL: 0982-69-7720 FAX: 0982-69-7721	ホームページ アドレス	<a href="https://www.nap-camp.com/miyazaki/10525">https://www.nap-camp.com/miyazaki/10525</a>
資本金	30,650千円	設置目的	第一次・第二次・第三次の枠組みにとらわれず、あらゆる経営資源を活用し、業務を多角的・複合的に行う	事業(業務)内容	牧水公園の管理運営業務		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額(千円)
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R4年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	R4年度
	4	0	0	4	1	46.5	11,399
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)						
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		R2	R3	R4			
	① 運営補助金	0	1,743	100	県内事業者緊急支援金:100千円		
	② 指定管理料	23,000	23,000	23,000			
	③ 貸付金	0	0	0			
	④ その他(業務委託)	2,438	1,920				
	合計	25,438	26,663	23,100			
	・短期貸付金残高						
	・長期貸付金残高						
	(2)人的支援(人的関与) 市の出資割合97.9%:副市長が代表取締役社長に就任している						
(3)その他の取組(その他の課題)	・指導・監督の強化						
	・情報の公開						
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	構築された業務マネジメントの適正な運用管理による月別事業実績等から経営状況の検証を行い、繁忙期と閑散期の経営形態の見直しを継続するとともに、日常業務における管理体制の充実・強化に努めます。		令和4年度においてはコロナ禍のなか外出自粛緩和措置もあり前年と比較すると施設利用者も増加傾向にありますが、多人数での合宿等については依然として自粛ムードで最盛期と比較すると、厳しい経営状況となりました。会社の経営を持続するため毎月の経営分析に基づき経営状況を把握し、社員間の情報共有を図り、軽微な維持補修や外部業務委託としていないグラウンド等の草刈り等を実施するとともに、施設の軽微な修繕、コテージ等で古くなった電化製品(炊飯器・電気ケトル)や電子レンジの新たな購入等を行い、施設利用者の利便性向上を行ったところであります。また、勤労意欲向上のため、最低賃金改正にあわせ賃金の見直しも行ったところであります。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 限られた人員で施設の維持管理に取り組みされていることは評価できます。しかし、収益の大半が指定管理委託料であり、新たな収益の増加を目指す取組が無ければ、今後も厳しい経営状況が続くと考えられます。施設ごとの利用者数や収支状況の分析を行いながら、新たな経営戦略を検討する必要があると思います。	
	自主事業の実施	継続して実施する自主事業については、多面的な視点でのリニューアルを行いながら施設の利用促進を推進します。		コロナ禍の中、ソフトテニス大会等の自主事業及び春のつばき祭り等のイベントも開催できませんでした。期間及び数量限定で得意先に販売しておりました「十割そば」についてはそばの打ち手不在により製造を中止しました。要望の多いBBQコンロの貸出及び炭の販売については継続して実施しました。今後は、牧水の里のスポーツ大会の開催することで、牧水公園テニスコート・多目的グラウンドの魅力発信に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input checked="" type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍による影響をはじめ、難しい事業環境ではありますが、「東郷町域の観光・人的交流の拠点施設」という位置付けからも、これまで以上に積極的な自主事業の実施についての検討が必要だったと思います。観光施設を取り巻く最新のトレンドの把握に努め、新たな収益元となる観光コンテンツを開発することが喫緊の課題であると同時に、更なる情報発信の方策についての研究に取り組んでください。また、他の市内観光施設との差別化やPRのため素材として、「十割そば」の復活についての検討をお願いします。	
	施設間連携の強化	施設間、外郭団体、地域の自治会等との連携・協力体制を強化し、相乗効果のある事業を実施します。		新型コロナウイルス感染症の外出自粛措置は緩和されたものの、市内が出のイベントが中止となり、施設間・地域自治会との連携した事業は開催できませんでした。今後は地域自治会や隣接する若山牧水記念文学館との連携・協力体制の強化・維持に努めます。		<input type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input checked="" type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍の影響はあったものの、地域や他の市内観光施設との連携については、不十分な面があると思います。キャンプやサイクリングに係る団体等のほか、既存の関係にとらわれない新たな視点での団体等との連携についての検討をお願いします。	
市による財政的なリスクへの対処の	施設維持補修経費の確保	老朽化等に伴い発生する施設更新・修繕費に必要な財源確保に努めます。		令和3・4年度の2カ年かけて牧水公園交流施設内の研修施設である「ふるさとの家」の外壁改修工事を行いました。また、テニスコート下駐車場に隣接するトイレ及びキャンプ場付近のトイレの洋式化(女2・男2)が行われ、利用者への環境整備を行いました。また、令和4年9月に発生した台風14号により被災した、ふるさとの家東側の屋根が損傷したため、災害復旧工事を行いました。工事費:7,475千円		<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 安全かつ快適に利用するための修繕・維持補修等の対策は行われていますが、費用対効果や戦略的な投資であるか等についての分析・検証が必要だと思えます。キャンプというコンテンツは今後も優位性があるかと思えますので、観光ニーズやトレンドを把握しつつ、市との連携を図りながら、今後の経営戦略やビジョンを定め、更なる魅力向上のための取組を期待しています。	

財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)					
			R2	R3	R4			R2	R3	R4			
		資産合計	44,477	46,581	46,775	経常収益	29,888	27,903	26,366				
		負債合計	3,855	3,701	3,611	うち市からの補助金・委託	22,967	20,909	20,909				
		資本合計	40,622	42,880	43,164	経常費用	26,454	24,816	25,781				
		累積欠損金	0	0		経常利益(損失)	3,434	3,133	585				
						当期利益(損失)	2,589	2,258	284				
指標関係	指標(数値目標)		R元実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標					
	財務指標	当期純利益(単位:千円)	968	2,589	2,258	1	284	1					
		流動比率(単位:%)	1404%	1153%	1258%	150%	1295%	1299%					
	活動指標	ふるさとの家利用者数	1,980	589	384	2,000	935	1,500					
		牧水庵利用者数	1,280	1,191	0	0	0	0					
		コテージ利用者数	2,041	1,145	796	2,100	1,515	1,500					
		テニスコート利用者数	3,199	3,352	2,649	3,000	2,323	2,500					
		キャンプ場利用者数	347	299	384	300	384	400					
	自主事業開催回数	1	0	0	1	0	2						
財務・成果・活動指標取組結果	<p>令和4年度においても前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、外出緩和の措置もあり、施設利用者も増加傾向となりました。利用者・売上高も最盛期までとはいかないまでも、宿泊施設利用停止措置が発令された前年度と比べ利用者で8,254人(対前年度比2,982人 56.6%増)、売上高で26,232万円(対前年度比2,172万円 9.0%増)となりましたが、経営状況は依然として厳しいものの、県の県内事業者支援金の交付があり、事業年度決算においては平成27年度から8期連続となる純利益が確保できたところであります。</p> <p>牧水公園交流施設につきましては、例年実施している宿泊者及び施設利用者に対するアンケートや聴き取りを行い、利用者のニーズに対応するため指定管理者として遊具・施設などの巡回を行い、軽微な維持補修を適宜行うとともに、専門的な技術・経費を要する箇所については市へ報告を行い、安全対策を最優先に社員の日常管理体制の強化に努め利用者の利便性向上に向けた取り組みを行ってまいりました。修繕が必要な箇所については市に報告をするとともに、軽微な修繕については限られた財源の中で実施し、安心・安全な牧水公園の運営管理に努めました。</p> <p>また、コテージ利用者の利便性向上のため、経年劣化した炊飯器・電気ケトルの更新、下コテージへの電子レンジの配備や軽微な維持補修、外部委託としていないグラウンドの草刈り及び公園を含めた施設利用者が再度訪れてみたいくなる施設を目指し、外部委託期間外の草刈り・落ち葉の清掃等に努めたところであります。公園を含めた構造物等に対する指定管理者としての責務については、利用者の安心・安全を確保し、東郷町域の観光・人的交流の拠点施設としての役割を維持し、利用者の利便性向上に寄与することを大原則として日常業務の中で設備の劣化度合いや利用者のニーズを確認しながら適正に対応しているところであります。</p>												
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>限られた人員体制の中で、施設の維持管理が主となっている現状を打開する方策が見えないのが実情であると思います。そのような状況においても、社会経済活動の正常化やキャンプ熱の高まり等を踏まえた新たな収益を生み出す取組を検討する姿勢が必要だと思います。市との連携を図りながら、今後の経営戦略やビジョンについてしっかりと議論し、まずは情報発信を強化するとともに、新たな自主事業やコンテンツの開発に取り組んでください。</p>												
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	C	⇒	A 経営努力を行いつつ事業は継続	⇒	B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要	⇒	C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要	⇒	D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要			
第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見	市	今後の方向性	イ	⇒	ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続	⇒	イ 事業内容等の見直しを行った上で存続	⇒	ウ 再建を行いつつ存続	⇒	エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡	⇒	オ その他( )
		今後の取組について	<p>コロナ禍の影響による行動制限の緩和等により、大会や自粛されていたスポーツ合宿など、令和4年度から少しずつ復活の兆しが見えてきているところであり、若山牧水生誕の地に立地する観光資源として、令和5年度には、テニスコートの改修やナイター設備の改修を行い、環境の整備及び充実を図りました。</p> <p>引き続き、市民及び施設利用者の健康増進のための、スポーツや宿泊の一連のサービスの提供が可能な施設として、適切な施設の維持管理及び計画的な施設、設備、備品等の更新・改修に努めていきます。</p> <p>また、牧水公園については、東郷町地域振興計画において、観光交流拠点として位置付けられていることから、牧水庵の活用事業者や牧水公園交流施設の指定管理者である(株)東郷町ふるさと公社との連携を図りつつ、これまで実施していない体験型コンテンツ等の実効性の確立や各種イベント開催の支援にも取り組んでいきます。</p>										
	東郷町ふるさと株式会社	今後の取組について	<p>令和4年度には、炊飯器・電気ケトルの買い替え、電子レンジの新規購入を行うとともに、令和5年度には焼き肉用ホットプレートを新規購入し、利用者の利便性向上に努めているところであり、引き続き、利用者のアンケートで要望の多かったコップ・紙皿・箸・歯ブラシセット・タオルの販売にも取り組む予定です。</p> <p>また、令和5年度には、懸案であったテニスコートの人工芝の張り替え及びナイター設備の改修により、市内外の中学校ソフトテニス部による交流大会を開催することができました。</p> <p>テニス及びサッカーなどの大会・合宿については、今後もその開催や誘致を継続するとともに、隣接する「若山牧水記念文学館」と連携した短歌合宿等のイベントも企画していきます。</p> <p>さらに、「牧水そば」の再開に向けて、引き続き人員確保に取り組むほか、ふるさとの家及びコテージのWi-Fi環境の整備、キャッシュレスサービスやインターネットによる予約システムの導入についてのこれまで以上の情報発信を行いながら、集客向上につなげていきます。</p> <p>新型コロナが5類感染症となり、コロナ禍前の状況に戻つつある中、今後とも、施設の清掃及び消毒作業を徹底しながら、訪れた人が気持ちよく過ごし、また来たいと思ってもらえるような環境美化に取り組んでいきます。</p>										
その他特記事項	<p>牧水庵利活用事業により、令和5年9月28日付で、「山のビストロKamos」と貸付契約を締結しました。</p>												